

贄川関所(長野県塩尻市贄川 1568-1)

福島関の副関

JR 贄川駅から歩いてすぐ、中山道の贄川宿の北の端にあるのが、贄川関（贄川関所）だ。木曾路の最初の宿場である贄川宿において、福島関の補助的な関所として設けられ、1869 年（明治 2 年）に関所が廃止されるまで、江戸時代を通して女改めや白木（木材）などの流通の監視など、重要な役割を果たした。

贄川の集落は、昭和 5 年に起きた大火で大半が焼失。この贄川関所は、昭和 51 年に様々な文献を元に関所があった場所のそば（実際の場所は現在の JR 敷地内）に間取りや敷地面積も忠実に復元されたもので、現在、関所関連の資料を展示するほか、階下の木曾考古館では縄文時代の土器・石器なども展示している。

JAPAN WEB MAGAZINE による



復原関所